

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員			
◎岡村典子、川島良子、谷内田潤子、山岸美奈子、池田よし江			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 30時間
	【担当教員】 【氏名】 ◎岡村 典子 川島 良子 谷内田 潤子 山岸 美奈子 池田 よし江 金井 系未	【研究室】 216 206 共同研究室1 共同研究室5 共同研究室1 共同研究室5
実務経験のある教員が担当します。		
【本学の科目区分】 専門科目		
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程		
【D P 1】 ○ 【D P 2】 ◎ 【D P 3】 【D P 4】 【D P 5】 【D P 6】 【D P 7】		

到達目標	看護技術の目的と科学的根拠を理解し、安全・安楽・自立を踏まえた生活援助技術の知識・技術を習得する。	
授業概要	学修する各看護技術の目的と意義、そして実施するための知識・技術を習得する。この科目では、感染予防、体位の変換と安楽、病床環境の整備、衣生活の援助、移乗・移送、食事の援助、排泄の援助、身体の清潔に関する技術について、必要な知識を学ぶとともに演習を通して技術の習得を目指す。また、対象の個別性にあわせた看護技術の活用・応用の必要性を理解する。 ※A・Bグループに分かれて少人数で演習を行う。詳細のスケジュール（担当教員含む）は後日配布する。	
授業計画	1-1)	授業内容 授業形態：講義 学習課題：看護技術とは 学習内容：演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの内容 備考：
	1-2)	授業内容 授業形態：講義 学習課題：ボディメカニクス、活動・休息 学習内容：姿勢、良肢位、関節可動域訓練 ボディメカニクス 体位、体位変換 移乗・移送 睡眠、休息 備考：
	2-1)	授業内容 授業形態：演習 学習課題：技術演習にあたって 学習内容：実習室の使用方法 実習室にある物品 備考：
	2-2)	授業内容 授業形態：演習 学習課題：体位の変換と安楽 学習内容：体位変換の方法 安楽な体位の保持 備考：
	3-4	授業内容 授業形態：演習 学習課題：感染予防 学習内容：衛生的手洗い、標準予防策（病院の感染管理認定看護師との連携あり） 備考：ゲストスピーカー
	5	授業内容

	<p>授業形態：演習 学習課題：移乗・移送 学習内容：標準車椅子各部の名称と取り扱い方 車椅子の移乗・移送の方法 ストレッチャーの移乗・移送の方法</p> <p>備考： 6 授業内容 授業形態：講義 学習課題：環境調整、衣生活の援助 学習内容：病室・病床の環境の調整 ベッド周囲の環境整備 生活における衣服の意義 病衣の種類と選択</p> <p>備考： 7 授業内容 授業形態：演習 学習課題：病床環境の整備 学習内容：ベッドメーキング リネン交換</p> <p>備考： 8 授業内容 授業形態：演習 学習課題：寝衣交換 学習内容：病衣・寝衣交換</p> <p>備考： 9 授業内容 授業形態：講義・演習 学習課題：食事・栄養 学習内容：食事の意義 栄養状態・摂取能力のアセスメント 摂食・嚥下訓練 食事の環境調整、食事介助の方法</p> <p>備考：ゲストスピーカー 10-11 授業内容 授業形態：講義・演習 学習課題：排泄 学習内容：排泄の意義・機能 排泄に関するアセスメント 排泄を良好に保つための援助 床上排泄の援助</p> <p>備考： 12 授業内容 授業形態：講義 学習課題：清潔の援助 学習内容：皮膚・粘膜の機能 皮膚機能保持と身体の清潔 清潔援助の方法</p> <p>備考： 13-15 授業内容 授業形態：演習 学習課題：身体の清潔 学習内容：清潔援助の実際 全身清拭、部分浴、洗髪、口腔ケア、陰部洗浄</p> <p>備考：</p>
事前・事後学習	事前学習：「看護学概論」における学びを振り返り、看護及び看護の対象を理解し学習に臨む。 事後学習：講義、演習での学びを振り返り、安全・安楽・自立を踏まえた技術習得を目指す。その際、教員の指導を積極的に受ける。
評価方法、評価基準	到達目標に対し、下記の3点にて評価する。 1. 期末試験70%：期末試験として、目標達成度を最終的に評価する。 2. 課題20%：課題内容は、学習の進行に応じて講義時に説明する。 3. 学習態度10%：演習、グループワークに主体的・能動的に取り組んでいるかについて評価する。
必携図書	自作テキスト：ファイルにて配布、ハンドアウト資料使用 有田清子他：系統看護学講座 基礎看護技術 I, 医学書院. 有田清子他：系統看護学講座 基礎看護技術 II, 医学書院.
参考図書・資料等	阿曾洋子他：基礎看護技術, 医学書院
受講、課題、資料配布等のルール	・演習は時間の中で順序立てて進めていくため、20分を超える遅刻や途中退出は欠席とみなし、遅刻3回で1時限分の欠席とする。出席日数が規定に満たない学生は試験を受けることはできない。また、服装・髪型・爪などの身だしなみ、言葉遣いといった演習に取り組む姿勢にも留意すること。なお、学習課題の順番は変更する場合がある。 ・看護技術の習得を目指すため、課題へ意欲的に取り組むとともに、時間外の自己学習も必要となる。
教員からのメッセージ	看護援助は、対象の立場を考え、対象に合わせて方法を選択し実践する力が必要となります。そのためには、看護技術に関する知識の修得とともに反復練習が欠かせません。自習時間を十分に活用した練習を期待しています。
オフィスアワー	